

Mランドニュース Vol.201

丹波ささ山校 令和6年1月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 前川 昂希
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

<今月の言葉>

失敗して、考え悩むことも
あるだろうけど、
立ち止まっていたはいけない。
一気に100メートルも進まなくていい。
1センチでもいいから前に進もう
三浦 知良

新年のついでに

代表取締役 会長

小河 吉彦



幸多き新春をお迎えのこ
とお慶び申し上げます。
次の時代の扉を開くキー
ワードは何か。コロナ禍で考
えさせられました。
二〇二〇年に「詩舞奏演」
という言葉に出会い、二〇二
一年から「楽美愛真」に替わ
るキーワードとして積極的
に発信をしております。
多くのゲストにこの言葉に
触れていただきたいと願い、
昨年益田校の六十周年記念
事業でモニュメントを作成さ
せていただきました。いずれ
同じものを丹波ささ山校で
もと考えております。移動
可能なモニュメント。多くの
方に座って触れていただけ
ると嬉しく思います。
さて、二〇二四年はどのよ
うな一年が待っているのだし
ょうか。本年の年次モットー

は、「『舞』」世のため人のた
めの行動・立ち居振る舞いを
しよう」と掲げました。
本年も「詩舞奏演」から一
文字を取り、全員で意識し
ていきたいと考えております。
具体的な行動指針として、
①「挨拶」②「笑顔」③「譲る」
④「相手を思う」⑤「掃除」。
以前から大切にしてきた
当たり前のことを、より意
識していく一年にしていま
います。
「挨拶」は、ゲストより先
に、そして相手に届く挨拶
を心掛ける。声、タイミング、
表情、距離感を意識する。
出入りされるお取引先各位
への丁寧な対応。何より職
員間の挨拶、「ご苦労様」「お
疲れ様」「元気？」などの声
掛けも積極的に行う。
「笑顔」は、公のものとして捉え
意識する。笑顔の輪を広げ
ていくのは自分だと意識す
る。不機嫌は無言の暴力とい
う言葉もあるように、表情
や態度を心掛ける。もし何
かあった時は態度に出すの
ではなく、冷静に対話を意識
する。社長は働きやすい環
境を創ること。
「譲る」は、ゲストに譲る
人になっていただくために、

教習や日常で意識する。ド
アの閉閉時など様々な場面
での「お先にどうぞ」の声掛
け、電話を切るタイミングは
相手より後に丁寧な。
「相手を思う」は、相手に
寄り添うことを意識する。
ゲストはもちろん、職員間
でも。上司はより意識する
こと。それが出来れば、相手
の立場に立った行動、言葉に
繋がるはずだ。
「掃除」は、教習車の洗車、
机上ゼロ、朝活、ゲストとの
朝のボランティアを積極的に。
美しさこそ人に伝える力に
なる。
以上、この五つの年次モッ
トーを、具体的な行動指針
として意識してまいります。
どのような時代になっても、
人としての本質、大切なこと
は変わらないはずだ。そし
て人と人との繋がりがより
求められる時代、また人間
力が求められる時代だから
こそ、当たり前のことを丁寧
に大切にしていきたいと思え
ております。
どのような一年になるのか
楽しみです。そして、どのよ
うなゲストとの縁があるの
かワクワクしております。
我々の使命であります「燦の

心を育むコミュニティの創造」。
本年も全力で社員一丸とな
り、燦の心が育まれる人と
人との繋がりを創ってまい
ります。
最後になりましたが、社
外の皆さまにおかれまして
は、弊社社員一同、本年も
よろしくご指導ご鞭撻のほ
どを心よりお願い申し上げ
ます。ありがとうございます。
三年前の五十九歳の夏、
トライアスロンの自転車練習
中に、腹部動脈解離を発症
して命(死)について考えさせ
られました。若いころは、命
(死)については考えたことも
ありませんでした。人は、生



益田校六十周年記念モニュメント

一所懸命

社外取締役

八尾 彰一

きてきたように命を全うす
るといわれています。
日本人の平均寿命が八十
四歳、良い八十四歳を過ご
すためには、良い七十歳台、
六十歳台の生活が必要です。
良い未来を生きるために
は、「今」を「一所懸命」に生
きる必要があります。
さて、Mランドに帰って
くと、「感謝」と書かれた力の
こもった大きな筆文字が、館
内のひととき目立つ場所に
飾られていました。
篠山鳳鳴高校書道部の皆
さんが本気になって、仲間と
心をひとつにして書かれた筆
文字です。今を「一所懸命」
に生けると、「感謝」の言葉
が真っ先に出てくると気付か
された瞬間でした。
二〇二三年もありがとうございました。
二〇二四年も
もっと良くなるように一所
懸命に生きていきます。



Mランドの在校生、卒業生との一枚

書道作品展示のお知らせ

副管理者 谷口 健

昨年、篠山鳳鳴高校書道部の皆さんに、Mランドフェスタのテーマ「感謝・未来」に込めた想いをお伝えし、揮毫していただいた作品を、本館に展示しました。



ピンクと紫で描かれている文字は「未来」

縦三メートル横四メートルの圧巻の作品です。

「遊びたい会いたい話したい 退屈だった日常がいま色づいていく些細なことが楽しめるのは幸せの証」【感謝 未来】と、揮毫されています。

コロナ禍において、ありとあらゆる制限され、これまで当たり前だった生活が一変しました。四年の月日を経て、ようやく本来の生活が戻りつつある今、「当たり前前に生活できていることに感謝し、下を向かず上を

向いて明るい未来を自分たちの力で創り上げていこう」という想いを見事に表現していただきました。

ぜひ皆さまも、圧巻の作品をご覧にMランドへお越しください。

少し早いプレゼント

やわらぎチーム

リーダー 大澤 竜貴

十二月十一日、八尾彰一氏のお声掛けで、今回でMランドは五回目となる「クリスマスゴミ拾い」に参加してきました。

クリスマスには少し早いですが、皆さんサンタクロースの衣装に身を包んでの参加です。私たちも負けじと、トナカイではなくイノシシの衣装で参加しました。(笑)



恥じらいなど微塵も感じません(笑)

サンタやイノシシの姿で歩いていると、観光客や地元の方々に最初は目を丸くして驚かれるものの、声援を送っていたことが、すごく励みになりました。

普段は教習車で篠山の街を走っていますが、ゴミ拾いをしながら改めて街を歩いてみると、丹波篠山の情緒あふれる街並みや、大自然がいたるところで感じられ、まるで観光をしているみたい

に楽しい時間を過ごすことができました。捨てられているゴミのほとんどは目に見えないところに捨てられていましたが、これ

インターンシップ

顧客チーム

江本 崇人

十一月六日から十日までの五日間、インターンシップ(職業体験)で篠山産業高校の二年生一名が、Mランドにお越しくださいました。

大人ばかりの空間に緊張されている様子でしたが、私

自身もインターンシップの担当が初めてだったので、負けず劣らず緊張しておりました(笑)。

五日間のインターンシップの概要を説明させていただいた後に、Mランドの施設と一緒に回り、故小河二郎前会長がMランドに込めた想いを説明しました。説明を聞いている時の彼女は、私にまで熱が入るほどの真剣な眼差しで、一つ一つ頷きながら、一つでも多くのことを吸収しようという意欲が見え、その姿勢に感動を覚えました。

日が経つにつれ、お互いの緊張もやわらいできて、さまざま業務を体験していただく中で、校内カフェ「ミロ」でも職業体験をしていただきました。

ミロの担当者に彼女の様子を聞いたところ、「すごく助かりました!!ぜひ即戦力として働いてもらいたい!!」という答えが返ってきたので、ご本人にその旨を伝えると、すぐ嬉しそうな表情で喜んでいただくことが印象に残っています。

五日間という短い間ではありましたが、Mランドで体験していただいたことが、こ

れからの彼女の人生のページに刻まれれば幸いです。



コーヒを淹れる姿も真剣そのもの

一年に一度のこの機会は、私自身もMランドを新鮮な目で見直すことができる良い機会となりました。

インターンシップが終わってから、お礼のお手紙をいただきましたので、その一部をご紹介します。

初めてのインターンシップで緊張しており、最初はあまり大きな声であいさつや返事ができませんでした。

でも、Mランドでたくさん体験をさせていただいて、あいさつや返事の大切さを実感し、今では自信をもって大きな声でできるようになりました。

また、いつも笑顔で対応していただけたので、心地よく働きやすかったです!!

今回のインターンシップで体験したことを、今後の学校生活や将来の進路に向けた取り組みに全力で活かしていきたいと思えます。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年もMランドニュースをご笑覧いただければ幸いです。さて、今年の干支は「辰」。実は私、年男でございます。辰年は活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

Mランドに二十歳で入社してから十六年。これまで積み重ねてきたものを、少しでも社会に貢献できるように、精一杯走りきりますので、今年もよろしくお願いたします。 前川 昂希

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレ掃除をしませんか?

- 場所 Mランド
- AM8:00~AM9:00

※トイレ掃除のできる服装でお気軽にご参加ください。